



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1 テーマ（主題）

見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜  
～学校ビオトープの学びを中心に～

#### 2 主な活動内容について

【3年 「あったらいいな ゆめのわいわいトープ」】

(ねらい)

- ・ わいわいトープで自然とふれ合ったり、カブト虫を育てたりする活動を通して、自然に生きる虫や植物について知り、自然や環境について自分の見方や考え方を深める。

(活動の実際)

- ・ 総合的な学習の時間に「どんな生き物がいるのかな」という発見課題を設定し、わいわいトープと出会わせた。活動後には、体験を言語化し共有化した。次に「こんな生き物がいたらいいな」という追究課題を設定した。自分の考えを広げる手立てとして、イメージマップを活用し、思いや願いを広げる学習を行った。



その中から詳しく調べたい生き物を決定し、(ゲストティーチャー、自然の話) 学校司書と連携して、図鑑の使い方や効果的な調べ学習について学んだ。図鑑を活用することで、興味・関心をもち、積極的に課題に沿って、生き物の種類や体のつくり、生態などを調べ、わかったことをライブラリナビにまとめた。調べ学習と並行しながら、カブト虫の育て方や自然についての専門的な知識をもつ方をゲストティーチャーとしていろいろなことを教えていただいた。教えていただいたことを活用して、わいわいトープの「カブト虫のプール」の世話をしたり、教室ではグループでカブト虫を育てたりした。育てたカブト虫は校区の夏祭りでは他の学年の児童や地域の方へ、大切に育ててほしいという願いをこめて寄贈した。

最後に、「ゆめのわいわいトープをしようかしよう」という提案課題を設定し、次年度3年生としてカブト虫の世話を引き継ぐ2年生とお世話になったゲストティーチャーを招待し、発表会を行った。目的意識と相手意識を明確にすることで、振り返りながら、学習して分かったことや考えたことなどをグループごとに模造紙にまとめたり、劇やクイズを行ったりして工夫して意欲的に発表することができた。

【6年「大切にしよう エネルギー」】



【1年「たのしさいっぱいあきいっぱい」】



【4年「レッツ野菜づくり！」】



【5年「稲から育てよう」】



【2年「生きものなかよし  
大作せん】



### 3 成果と課題

総合的な学習の時間や生活科を中心として教科等との関連を図りながら、児童の知りたい、調べたい伝えたいという思いを大切に、探究的な学習を展開することができた。

単元の最初にわいわいトープにいる生き物を探したり触れたりする体験的活動の充実を図り、児童の思いや願いを膨らませ、単元を通して意欲的、主体的に活動することができた。学校司書やゲストティーチャーと関わり、課題を解決させていく中で、私たち人間の生活と様々な生き物、自然とのつながり、命の大切さについて考えを深め、これからの生活で自分たちが気をつけなければならないことなどを考えることができた。

学習内容を今後の生活に生かし、行動化にまでつなげる必要を感じた。生き物の昼夜に係る留意事項や自然との関わりの中での栽培における対応等の点で課題が残った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）